

近畿圏の骨太の柱（案）

1. アジア・世界における近畿圏の役割

日本文化の中心である近畿圏は、日本らしさの源泉である「和」の精神を理念とし、新技術の提供と人材育成によって、国際貢献を実践する。

1-1 近畿圏が競争優位な分野の産業・技術でアジアに貢献する圏域

世界的な研究機関や研究者が集積し、既に産学連携・産業連携の取り組みが行われているなど、近畿圏の強みをさらに強化しつつ、世界随一の技術や人材を根拠とした近畿圏にしかできない商品やサービス、システムをビジネスとして提供し、アジア諸国の社会的課題を解決する。

(例) バイオ・ライフサイエンス(再生医療、創薬)、環境・エネルギー(太陽電池、燃料電池、バイオエタノール、原子力)、安全・安心(防災)、素材、IT、情報家電、ロボットなど

1-2 アジアのイノベーション力を高める圏域(人材育成、技術貢献の拠点)

近畿圏がリードする新産業の技術や、日本のソフトパワー(クリエイティブ産業)の源となっている技術を国内にとどめず、国際貢献の観点から、経済文化交流(人材育成や技術移転)を通じてアジア諸国に提供し、健全な競争関係を構築することで、日本を含むアジア全体のイノベーション力を強化する。(アジアを舞台とする自由競争により、近畿圏が世界に通用する実力をつける。)

1-3 その他の意見

- ・新産業の創出拠点 ……1-1 や 1-2 の手段か？
- ・アジアの首都 ……アジア諸地域との信頼関係を築く一つの圏域(主体)ではないか？

2. 日本における近畿圏の役割

日本の源泉である日本文化を再興し、これを顔として文化交流および経済交流を進め、「日本」の発信という面で日本の中心的役割を担う。

2-1 日本文化の中核として、日本のアイデンティティを発信

海外に向けて日本のイメージを正確に発信し(「日本らしさ」のブランドづくりをリード)、日本商品の国際競争力を高めるとともに、国際社会における日本の影響力、存在感を高める。

2-2 グレーター近畿圏(西日本)の雄

アジア全体をメイン・マーケットとする経済活動と競争により、世界に通用する経済競争力とアジアとの信頼関係を築くことで、(東京圏とは別の)独自の成長プロセスを実現。更に、隣接する圏域との連携により、国際社会において無視できない「一つの圏域(グレーター近畿圏)」を中長期的に形成。

2-3 一極集中型の国土構造・システムの是正

首都機能代替(バックアップ)。想定外の事項に対する日本の危機管理を世界に示すことで、日本の信頼性向上につなげる。

2-4 その他の意見

- ・関空等の既存ストックを活用したアジア・ゲートウェイ ……これは役割でなく手段か？

3. 「近畿圏の役割」を果たすために必要となる圏域の姿

3-1 基本的な考え方

- ・京阪神都市圏が成長エンジンとなって、近畿圏全体の経済を牽引
- ・地方部では、日本の原風景(景観、環境、二次自然)を再生
- ・近畿圏全体が、都市の文化と田園地域の恵みを日常的に享受可能な圏域構造をもつ
- ・日本のアイデンティティ(日本らしさ)の源泉である近畿圏の中で、日本文化をリードする都市群

3-2 「近畿圏の役割」と6つの戦略

